

神経病理認定研修科目		必修項目グレード	自己評価	指導責任者評価
研修項目		A 十分な手技能力、経験、知識を有する B 一通りの手技能力、経験、知識を有する C 内務の概略を知っている		
1) 脳・脊髄の採取方法と肉眼的観察と記録				
1. 脳・脊髄の採取方法と固定法		A		
2. 脳・脊髄の肉眼的観察		A		
3. 肉眼的所見		A		
4. 脳・脊髄の基本的構造と観察		A		
5. 脳・脊髄の基本的構造、神経細胞、グリア細胞、血管、脳軟膜、上衣細胞、神経線維		A		
6. 正常脳にみられる細胞病変		A		
7. (アミロイド小体、リボフスチン、Marinesco小体、平野小体、顆粒空胞変性など)		A		
8. グリア細胞の変化 (グリオシス、肥腫性星細胞、AlzheimerI型グリア、Rosenthal fiberなど)		A		
3) 病変からの神経病理学的所見				
1. 血管障害・循環障害				
a. 梗塞		A		
b. 出血		A		
c. くも膜下出血		A		
d. 各種血管病変 (動脈硬化、静脈病変、塞栓、動静脈奇形、モヤモヤ病などの詳細)		A		
2. 炎症・感染症				
a. 硬膜炎、髄膜炎、脳炎、脳膿瘍		A		
b. 急性ウイルス感染症		A		
c. 細菌性髄膜炎、ヘルペス脳炎、日本脳炎、サイトメガロウイルス、狂犬病など		A		
d. 寄生虫・慢性ウイルス感染症		A		
e. PML、SSPE、HTLV-1脳炎 (HAM)、HIV-1感染関連脳脊髄症など		A		
f. 急性細菌感染症、化膿性髄膜炎		A		
g. 慢性・亜急性細菌感染症		A		
h. 結核性髄膜炎、結核菌、梅毒 (ゴム腫、脊髄痙、進行麻痺) など		A		
i. 真菌感染症 (アスペルギルス、カンジダ、クリプトコッカス、ムコールなど)		A		
j. 原虫感染症 (トキソプラズマ、アメーバ、マラリアなど)		B		
k. 神経サルコイドシス		B		
l. アリオン病		A		
m. 自己免疫性脳炎 (傍腫瘍性神経症候群を含む)		B		
3. 変性疾患				
a. アルツハイマー病		A		
b. ビック病		A		
c. パーキンソン病/レヴィ小体型認知症		A		
d. 進行性上肢麻痺/大脳皮質基底核変性症		A		
e. ハンチントン病		A		
f. 多系統萎縮症 (MSA)		A		
g. 遺伝性脊髄小脳変性症 (SCA3, DRPLA, SCA6, SCA31 など)		A		
h. 筋萎縮性側索硬化症		A		
i. 筋萎縮性側索硬化症		A		
j. 増殖顆粒病		A		
k. 脳内封入体病		B		
4. 脱髄疾患・白質ジストロフィー				
a. 多発性硬化症		A		
b. 視神経脊髄炎 (NMJO)		A		
c. 急性慢性脊髄脊髄炎		B		
d. 脳脊髄液ジストロフィー (ALD)		B		
e. その他の白質ジストロフィー (Porziaeus-Merzbacher病、Alexander病など)		B		
5. 代謝性疾患				
a. ビタミンB12欠乏症 Wernicke脳症、ベラグラ、亜急性性慢性脊髄変性症など		A		
b. 橋中心髄鞘硬化症 (浸透圧性脱髄症候群)		A		
c. Wilson病		B		
d. 一酸化炭素中毒		B		
e. ミトコンドリア病 (MELASなど)		B		
f. その他の遺伝性代謝疾患 (糖原病、ムコ多糖症、ラフォラ病、神経軸索ジストロフィーなど)		C		
g. 胎生期による脳障害		B		
6. 形成異常、胎生・周産期脳障害				
a. 神経管閉鎖障害 無脳症、二分脊椎、髄膜嚢、Chiari奇形、脊髄空洞症など		C		
b. 脳形成障害 全前脳症、脳梁欠損症など		B		
c. 神経細胞移行障害 溝脳症、多小脳回など		B		
d. 細胞の増殖と分化障害 小頭症、巨脳症など		C		
e. その他 (水無脳症、basket brain、乳脳症・製脳症、水頭症など)		C		
7. 神経皮膚症候群				
a. 神経線維腫症、結節性硬化症、von Hippel-Lindau病、Sturge-Weber症候群など		B		
8. 外傷				
a. 骨折		A		
b. 硬膜外出血		A		
c. 硬膜下出血		A		
d. 脳挫傷		A		
e. 外傷性くも膜下出血		A		
f. びまん性軸索損傷		B		
g. 慢性外傷性脳症		C		
h. 脊髄損傷		A		
9. 腫瘍				
a. 生検・手術後の凍結保存と永久標本の切り出し		A		
b. びまん性星細胞系およびびまん性星細胞系腫瘍 (膠芽腫IDH野生型など)		A		
c. その他の星細胞系腫瘍 (毛様細胞性星細胞腫瘍など)		A		
d. 上肢系腫瘍		A		
e. その他の腫瘍		B		
f. 神経鞘腫		B		
g. 神経細胞および混合神経細胞・膠細胞系腫瘍		A		
h. 松果体腫瘍		C		
i. 胎児性腫瘍 (嚢芽腫など)		C		
j. 脳神経および脊髄神経腫瘍 (Schwann細胞腫瘍など)		A		
k. 髄膜腫		A		
l. 肉芽腫、非髄膜性腫瘍 (血管芽腫など)		C		
m. メランin細胞性腫瘍		C		
n. 悪性リンパ腫		A		
o. 脳腫瘍性腫瘍		C		
p. 脳脊髄腫瘍		C		
q. トロモ酸腫瘍 (頭蓋咽頭腫、下垂体腫瘍など)		A		
r. 嚢胞性病変		A		
s. 転移性腫瘍		A		
10. てんかん				
a. 痙攣および大脳皮質の切除標本の切り出し		A		
b. 痙攣硬化症		A		
c. 低悪性度てんかん関連神経上皮腫瘍 (low-grade epilepsy-associated neuroepithelial tumors: LEAT)		A		
d. 大脳皮質形成異常		B		
e. その他 (血管形成異常、グリア腫瘍、脳炎など)		B		
11. 末梢神経				
a. 標本作製と染色法、ヒストグラム法		A		
b. 末梢神経病理所見と病態解釈		A		
c. 血管炎性ニューロパチー		A		
d. 免疫介在性ニューロパチー		B		
e. パラプロテイン血症に伴うニューロパチー		C		
f. 糖尿病、栄養障害・中毒によるニューロパチー		A		
g. その他 (遺伝性ニューロパチー、腫瘍性疾患に伴うニューロパチー、アミロイドニューロパチーなど)		B		
12. 脳				
a. 標本作製と染色法		A		
b. 脳病理所見と病態解釈		A		
c. 神経原性脳疾患		A		
d. 脳ジストロフィー		A		
e. 炎症性脳疾患 (多発筋炎、封入体筋炎、SRP抗体陽性壊死性ミオパチーなど)		A		
f. ミトコンドリア病		A		
g. 全身疾患に伴う脳疾患 (糖尿病、胎児性筋萎縮症ミオパチー、甲状腺機能亢進症、ステロイド、悪性腫瘍、加齢など)		B		
h. その他 (遺伝性ミオパチー、筋強直性収縮、先天性ミオパチー、中毒など)		B		